

候補者氏名： 松下玲子

Q1 現市政における各政策に対する評価を教えてください。(各政策に対して、該当する箇所に✓でお答えください)

自身が市政を担当していますので、「評価する・しない」というのも少しふさわしくないかと考え。「十分取り組んでいるか・そうともいえないか」という視点で記入しました。

No	政策分野	評価する	どちらかと言えば 評価する	どちらとも言えない	どちらかと言えば 評価しない	評価しない
1	コロナ対策		✓			
2	子育て支援	✓				
3	小・中教育	✓				
4	障がい者福祉	✓				
5	高齢者福祉	✓				
6	環境・エネルギー	✓				
7	防災・減災		✓			
8	ゴミ・リサイクル	✓				
9	行政・財政改革		✓			
10	行政のデジタル化	✓				
11	議会改革		✓			
12	景観・緑化・公園	✓				

13	道路・交通	✓				
14	公共インフラ	✓				
15	経済活性化	✓				
16	都市農業	✓				

Q2 ご自身が市長として、優先的に取り組みたい政策分野を5つ選び、1から5で優先順位をつけてください。

あくまで、コロナ禍が猖獗を極める現在の優先政策という観点で選びました。

No	政策分野	優先順位
1	コロナ対策	1
2	子育て支援	3
3	小・中教育	
4	障がい者福祉	
5	高齢者福祉	4
6	環境・エネルギー	5
7	防災・減災	
8	ゴミ・リサイクル	
9	行政・財政改革	
10	行政のデジタル化	
11	議会改革	
12	景観・緑化・公園	
13	道路・交通	
14	公共インフラ	
15	経済活性化	2
16	都市農業	

Q3 Q2で挙げて優先度の高い政策のうち、トップ3の政策について伺います。各政策分野における、あるべき姿、現状、課題解決に向けた政策、実行にあたっての障壁を記載ください。

- ・可能な限り、具体的且つ定量的に記載ください。
- ・以下に例をあげていますので、具体性、文字の分量等を参考にご記載ください。例示した政策課題に関する記述内容は、あくまで記載する際の参考としての内容であり、正確性を保証するものではない旨、ご了承ください。

例 政策分野：環境・エネルギー

政策分野	あるべき姿	現状	課題	政策	政策実行の障壁
環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2050年カーボンゼロに向けて2030年までに2013年比CO2を半減。</li> <li>●武蔵野市内でも公共施設のみならず、商業施設、集合住宅、戸建て住宅に至るまで、自然エネルギーで使用電力の5割をまかなっている状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カーボンゼロ宣言を発出するも、2030年の具体的な削減目標を出していない状態</li> <li>●武蔵野市内の全中学校に太陽光発電システムを導入済み</li> <li>●エコリゾートでは、ゴミの燃焼から発生したエネルギーを活用し、隣接する中学校に電力を供給している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2030年の具体的な削減目標と具体的な施策がない</li> <li>●施策が公共施設に限定されていて、市内の商業施設、集合住宅、戸建て住宅に広がっておらず、政策効果が限定的であること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あるべき姿の実現に向けて、2030年までの市内の具体的な施策を早急に作る必要がある</li> <li>●施策案には、公共施設のみならず、戸建てや集合住宅へのソーラーパネル設置支援の義務化を盛り込む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●想定予算●●億の確保</li> <li>●既設物件への導入、築年数の長い建物への導入</li> </ul>

政策1

政策分野	あるべき姿	現状	課題	政策	政策実行の障壁
------	-------	----	----	----	---------

<p>コロナ対策</p>	<p>●特別区のようにひとつの基礎自治体にひとつ保健所があり、保健所長がきめ細やかな感染症対策を行う。検査体制の強化、感染者への連絡や支援、感染状況分析等、区域内のデータを分析し適切な対策を行うことで、感染拡大防止、重症化予防を行うことができる。</p> <p>●武蔵野市単独もしくは、せめて武蔵野市と三鷹市でひとつの保健所を設置する。</p>	<p>●東京都多摩府中保健所（府中市）の管内は武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市と6市。その人口合計は104万人、日本一カバーする人口の多い保健所となっている。</p> <p>●感染者急増により、保健所業務は逼迫し、感染判明後数日経ってから連絡が入る、濃厚接触者特定が出来なくなってしまった。</p>	<p>●現状とも重なるが、感染症が流行していない平常時であれば保健所業務は食品衛生や環境衛生、旅館業法に基づく対応等、店舗の自主管理を支える役割が中心で問題は発生しなかったが、これだけ感染症が流行している、まさに災害時では、とても対応が出来ず市民は命の危険にさらされてしまいかねない。</p> <p>●基礎自治体で感染者の個人情報や詳細な感染状況が把握出来ない。</p>	<p>●保健所の復活。かつて市内西久保3丁目には三鷹武蔵野保健所があった。それより前には武蔵野市単独で保健所があり、行政改革の名のもとに都と国により、保健所統廃合が進み現在多摩地域では八王子市と町田市のみ単独の保健所を持ち、他24市は5つの都立保健所が管轄している。</p>	<p>●地域保健法により保健所を単独で設置出来るのは、特別区（23区）と政令市と中核市と決められ、それ以外は都が所管する。このため、武蔵野市単独保健所設置には地域保健法改正が必要。</p> <p>●全国的にみても東京都の感染状況は他県に比べて感染者数が多く、人口10万人以下の東京特別区でも保健所設置出来るのだから、多摩26市も設置可能と法改正すべき。</p>
--------------	--	--	---	---	--

政策2

政策分野	あるべき姿	現状	課題	政策	政策実行の障壁
------	-------	----	----	----	---------

<p>経済活性化</p>	<p>●基本的には自由な競争により価格が決定し、消費者が選択出来る市場経済において、より良い商品が流通し取引され、そうした循環によって経済活性化が図られるものとする。</p> <p>●市場経済と合わせて、所得再分配や市場の失敗・政府の失敗の是正により、国民全体が豊かになることで、経済が活性化し国が豊かになると考える。</p>	<p>●コロナ禍において例えば酒類の販売中止となった飲食業や酒販業は、自由な競争が行えず、酒類販売中止という緊急事態措置内容を守り、コロナ対策の支援金を手にするか、措置内容を守らずに売り上げを得て生き残ろうと努力をするか、どちらにしても大きな打撃を受けている業界がある。</p>	<p>●酒類販売の中止は、コロナ対策にとって合理的、科学的に有効か否か。</p> <p>●経済活性化を市場原理に任せるのか、税金を投入し市民福祉の向上に努めるかたちで取り組むか。</p> <p>●経済活性化と市民生活支援を同時にできないか。</p> <p>●コロナ禍が長引く中で、感染拡大防止に取り組みながら、経済を活性化させるという言わば二兎を追う。</p>	<p>●夜間時間営業中止や酒類販売中止ではなく、飲食店の人数を減らし、1グループあたり大人数ではなくひとり又は限定した人数にする、営業時間を延長し、店舗で時間あたりに入店可能な人数を減らし、出来るだけ密集しないような取り組みを行い、今までと根本的に異なる対策に変える。</p> <p>●感染状況や実態は家庭内感染及び経路不明感染がほとんどであり、飲食店への対策を見直す。</p> <p>●くらし地域応援券（購入補助券）第2弾を全在住市民に配</p>	<p>●緊急事態宣言下の緊急事態措置内容は都道府県が決定するものであり、基礎自治体である武蔵野市に権限がない。</p> <p>●飲食店等への指導監督権限は、食品衛生法上は保健所にあるため、保健所設置していない武蔵野市には指導監督権限がない。</p> <p>●保健所からいただく感染状況が詳細なデータではないため、市内での細かな感染状況を把握することが出来かねる。</p>
--------------	---	---	--	--	---

				布する。	
--	--	--	--	------	--

政策 3

政策分野	あるべき姿	現状	課題	政策	政策実行の障壁
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもを安心して産み育てることができるまち。子どもの成長に応じ、様々な経済的な負担が軽減され、おおらかな気持ちで楽しく子育てしながら仕事等ができる。</li> <li>●子どもを社会全体であたたかく見守りながら、その健やかな育ちや学びを支える。</li> <li>●子どもの人権が守られ、最善の利益が尊重され、いじめや虐待等ゼロ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育ては楽しいが時間的、経済的な負担も大きく、子育て支援の様々な取り組みが整っていないければ、仕事との両立ができかねる。</li> <li>●子どもは親が育てるものといった価値観も根強く、社会全体で育てるといってはまだまだほど遠い。</li> <li>●子どもの意志よりも親の意志を重視、子どもの人権が守られていない状況もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て支援は子どもを育てている親のためだけの支援では決してなく、社会全体で支援することで次世代を育むという視点に変えよう。</li> <li>●子育て支援というと、子どものいない人や子育てを既に終えた方から敬遠されてしまう。</li> <li>●子どものいない人にとっても、子育て支援＝次世代育成は社会的な意義あることと理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育園の待機児童ゼロ達成を継続し、次は兄弟姉妹同園、保育理念の合う希望する園に入れるようにする。</li> <li>●子育て支援に積極的に取り組むことで、仕事との両立が可能となり地域経済、地域医療を支える結果となる。</li> <li>●食を育み、子どもの健やかな育ちと学びを支える。小学校自校式給食調理場整備。</li> <li>●18歳までの子どもの医療費無償化で、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●少子化が日本の大きな課題となっているので、本来であれば国が率先して取り組む政策であると考ええる。</li> <li>●基礎自治体の積極的な子育て支援の取り組みが、「子育て家庭奪い合い」と受け取られないように、その効果が全国に波及し国を上げて取り組む後押しとなるようにしたい。</li> </ul>

				<p>経済的な負担を軽減し、早期発見早期治療で重症化を防ぐ。</p> <p>●子ども子育ての包括的な施設をつくり、子どもと子育て家庭の居場所、相談機関をつくる。</p>	
--	--	--	--	--	--

Q4 以下、個別の政策課題について、スタンスを教えてください。(各政策課題に対して、該当する箇所に✓でお答えください)

No	政策課題	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない
1	外国人に住民投票権の付与を前向きに検討すべき	✓		
2	男女混合名簿の導入を前向きに検討すべき	✓		
3	こどもへの性と人権の教育の推進を前向きに検討すべき	✓		
4	こどもの模擬選挙の導入を前向きに検討すべき	✓		
5	2050年脱炭素社会・カーボンゼロの実現に向けて2030年までに2013年比でCO2半減を前向きに検討すべき	✓		
6	雑木林の持続的な保全のため、雑木林の衰弱を促すナラ枯れ等への対応強化を前向きに検討すべき	✓		